

## 平成25年度 吹田市市民公益活動促進補助金審査結果一覧

NO	団体名	事業名	事業概要	事業コース	申請額 (円)	交付額 (円)	推薦 順位	平均 審査点	コメント
1	特定非営利活動法人 ベイ・フワード 倶楽部	チャリティーモブ(感動と驚きのミュージカル型平和啓発活動)	街中で通行人(一般の方に紛れ込んだスタッフ)が急に踊り出すミュージカル形式のエンターテイメント(約5分～10分位の間、場所や時間帯を考慮して、振り付けは予め決める)を実施。感動と驚きで人々を魅了し興味を引き出すことや、楽しんで頂くことで多くの方に当団体や活動への関心を持って頂くことで、「平和」について考える機会を提供する。	自立支援コース	400,000	0	19	19.5	今回は申請団体が多く、予算枠を大きく超えました。推薦順位の高い順に交付額を決定した結果、残念ながら交付には至りませんでした。しかしながら、「紛争・貧困・病気で傷ついた世界の子どもたちが人間らしく生きる為の生活支援」を「チャリティーモブ」を通じて実現しようとする試みには注目しています。今年度は主催団体と周知な打ち合わせの上、平和について考える機会を提供していただければ幸いです。次年度以降の申請を期待しています。
2	吹田ホスピス市民塾	公開講座の開催	年6回の講座の開催を通して、がんに関する知識を得て、予防、早期発見・早期治療を、がん患者・家族間の交流による情報交換・ケア、ご遺族のグリーフケアに役立てる。	自立支援コース	87,000	87,000	9	21.0	がんに関する知識と予防、早期発見・早期治療による適切な対応ができることを目標に継続的活動ができています。また、がん患者・家族間の交流による情報交換やグリーフケアにも取り組んでおられますが、多様な価値観を受け入れ、公益性・共感性を更に高めるよう努めて下さい。
3	佐竹台スマイルプロジェクト実行委員会	こどもとおとなの寺子屋	将棋を教えてくださいませんか？という保護者や着物を着てみたいという留学生の声がある。これまで2か月に1回程度不定期で開催していた寺子屋教室を定期的に開催することで、教えてあげたい大人、教えてもらいたい子どもたちの需要と供給に答える。また、定期開催により来年度以降の人材を確保し、継続できる仕組みをつくる。	自立支援コース	200,350	200,350	2	22.1	様々な分野において豊富な知識を持った大人が、その得意分野についての知識を子ども等に伝承することを通して、世代間交流や生きがいとなる画期的な事業です。多世代交流スペース「さたけん家」における2年間の運営実績を土台に今回の補助金を有効に活用されて、先駆的実績の基盤作りを確かなものにして下さい。
4	シニアにこにこサロン	シニアにこにこサロン	月2回第1木曜日、第3火曜日、午前10:00～11:30健康の森にて、足腰膝の衰えにより遠くまで歩けない人、軽度の認知症と思われる高齢者を対象に、体操、脳トレ、ステップライ等を実施しています。昨年度は月1回でしたが、参加者からの要望を受け止め月2回実施としました。	自立支援コース	80,000	80,000	4	23.4	地区福祉委員会主催の高齢者サロンに遠くて参加できない高齢者の要望を受け止め、近くで手軽に介護予防、認知症予防、転倒防止等を指導し、また、参加者同士が交流する機会にもなっており、高齢者の心身の健康維持に寄与している公益性の高い事業です。今後は、男性も参加しやすい仕組みづくりなど活動の幅が広がることを期待しています。
5	千里山まちづくり協議会	千里山今昔展	1. 千里山の歩みを展示 ①テーマ別に千里山の今昔を写真で対比 ②大阪住宅経営の図面、古地図、航空写真、絵葉書 ③千里山の歩み関連資料、千里山ゆかりの作家の図書など ④拓本(千里山住宅開発記念碑と千里山ゆかりの句碑) 2. 千里山の歩みに関連した上映会、講演会、ラウンドテーブル方式での話し合い 3. 上記の記録の冊子とDVDの制作	自立支援コース	206,800	206,800	7	22.1	自分の住む町について、昔の様子は興味深く、また、歴史を知ることで街への愛着が深まるものです。消えてゆく記憶を記録に残し、埋もれた記録に光を当てる大切な事業となるでしょう。事業を継続していくため、資料提供や寄附をされた方に成果物の配付をする等による、新たな資料収集と運用資金の確保が考えられます。会費からの繰り入れと補助金以外の収入の道を確保し、有益な事業となるよう期待しています。
6	NPO Heart・Heart	50歳からの和みヨーガ	高齢者の普段の暮らしを見ると、体に力を入れることが少なく緩みがちな人を多く見かけます。骨密度、筋肉が減少しています。しかし本人は意識しておらず、うつや認知症の原因になっています。和みヨーガは、中高年向けの無理をしないゆったり呼吸を行いながらの健康体操です。力を入れて抜いてと繰り返し行うことで自律神経を整え、合わせて筋力も付けて行きます。体温を上げ、血流・血圧を調整改善し体調を良くします。自分の体を自分でケアし、病気やケガになる前に予防改善する為のヨーガ講座です。	自立支援コース	327,550	164,000	14	19.2	ヨーガを通じて市民の健康促進に貢献されている活動は、中高年層のニーズに合い、これからますます広がりが期待できます。その分参加費の増加も見込まれますので、講師謝礼金は参加費で賄っていたが、報償費を除く経費327,550円の半額を交付します。今後も広報活動に努められ、ヨーガの周知、参加者拡大、会の発展に繋がることを期待しています。
7	NPO法人吹田市音楽療法推進会 おんがく・さ〜く〜コスモス	子育て支援コンサート事業～マタニティー、0歳から就園までの子どもと保護者対象～	子育て中の親子と一緒に楽しめるコンサートです。マタニティーの時期はゆったりリラックス、赤ちゃんが産まれたら赤ちゃんを連れて和室で寝かせながら、子どもが2歳を過ぎたら一緒に歌ったりしながら、ヴァイオリンやヴィオラ、フルート、クラリネット、ピアノなどのアンサンブル生演奏を楽しみましょう。子どもが泣いても声を出しても、ジッと座っていらなくても大丈夫。それぞれのスタイルで音楽を楽しみましょう。	自立支援コース	260,000	260,000	15	20.0	マタニティーの時期を含め子育て中の親子が、音楽によるリラックス効果を得ることができ、また、親同士が交流できる場にもなって、不安定になりがちな情緒の安定につながり、ひいては虐待防止の一助にもなることが期待できます。平成22年度の継続事業にあたると思われませんが、今後も工夫、改善を重ねて事業の発展的な継続に繋げ、音楽を通じての健康づくりの更なる充実に励んでいただきたいと思います。
8	NPO法人すいた市民環境会議	第3回環境楽座	「環境」は地球規模の問題でも、私たち一人ひとりの行動で変えられます。そんなことなどを楽しく語る「環境楽座」を聞いてみませんか。通いやすい駅近のメイシアターで、1回あたり500円という安さも魅力です。名誉教授から動物写真家まで多彩な講師陣が魅力です。	自立支援コース	156,000	156,000	12	20.8	団体として幅広い実績があり、地球規模の「環境」についての問題を解りやすく市民に伝える本事業も充実した内容で高く評価できます。2年間の実施経験もあるので、今後は広く市民に周知できるように、より親しみやすいチラシなどの作成、配布方法を検討され、参加者を広げていかれることを期待しています。

## 平成25年度 吹田市市民公益活動促進補助金審査結果一覧

NO	団体名	事業名	事業概要	事業コース	申請額 (円)	交付額 (円)	推薦 順位	平均 審査点	コメント
9	吹田夢☆志団	感動舞台「吹田の歴史物語 ～一生懸命がかっこいい～」	毎週土曜日の午後、市内の児童生徒が集まり舞台活動を行います。約30回の練習では吹田の歴史を学ぶ機会もあり、吹田を誇りに感じるきっかけになればと思います。舞台活動は自己表現の場であるとともに、仲間を認め尊重し自分の役割や責任を自覚するなど、社会性を育む人づくりの場です。脚本家や演出家になりたいなど、将来の夢が大きく膨らむ取組みです。子どもたちと共に大人のサポーターも成長できる楽しい瞬間の連続です。	自立支援コース	430,000	279,500	17	20.4	吹田と沖縄との交流から生まれた「郷土を大切にしたい場づくり」を発展させた舞台活動に注目しています。子ども達が吹田を学び、互いを尊敬しあう居場所づくりに当補助金が役立てられることを期待しています。今回は申請団体が多く、推薦順に交付した結果、補助金総額を超えてしまいましたので、残念ながら減額しての交付となりました。
10	こらぼれチップス	子どもの声を聴く電話相談事業	「子どもの声を聴く」電話相談(チャイルドライン)を開設します。18歳までの子どもが誰でも安心してアクセスできる子ども専用電話です。そのため、電話を受ける「子どもの声を聴けるおとな」を養成します。「子どもの権利条約」を基本に、電話の受け手として大切なことや、子どもの気持ちをどのように聴いていくのか等を専門家から学びます。更に、実践しながらスキルアップしていきます。活動に関心のある方を募集します。	自立支援コース	233,200	233,200	11	22.1	様々な社会的背景のもと、子どもを取りまく環境は悪化しています。子どもが「こころの居場所」を電話というツールで信頼できるおとなと繋がることは、子どもの権利擁護として大変意義のある活動です。なお、相談内容における個人情報の取り扱いについては、有識者に確認するなど慎重に行うようお願いいたします。
11	特定非営利活動法人 なの花	発達障害児を持つ親の集い事業	発達障害児を持つ親同士が集まって、発達障害の特性について学び、日頃の悩みやしんどさを分かち合う場です。子供達のこれからの健やかな成長を目指すため療育などの情報交換などもあります。	自立支援コース	268,500	268,500	6	22.2	発達障がい児をもつ親たちに対する学習の場を提供し、共通の悩みを話し合う事を通して、子ども達の健やかな成長を目指し、医療等の情報交換や精神的な支援を行う意義深い事業です。孤独に陥りやすい親たちに救いの場を提供する、きめの細かい活動を期待しています。
12	ほっと吹田	「高齢者！ いっしょがいいね」	・高齢者を巧みにだます、詐欺グループの事例を交え、警告を促すコント劇でわかりやすく、愉快に表現、シニアによるシニアのための話題劇です。研修では、認知症予防の具体的方法も聞き、体験していただく。また、介護のストレス対処法を学んでいただく。 ・シニア倶楽部で活躍している市民の写真展と、高齢者から子供までの一般市民をモデルにシニア写真倶楽部の仲間が写す撮影会。	自立支援コース	135,000	0	20	18.5	高齢者をターゲットとする詐欺や認知症、介護負担といった深刻な社会問題に対し、誰でも気軽に参加できるよう心がけた内容で、多くの人の参加が期待できる公益性の高い事業です。今回は申請団体が多く、予算枠を大きく超えました。推薦順位の高い順に交付額を決定した結果、残念ながら交付には至りませんでした。シニア世代が楽しく生き生きと輝く素晴らしい取組みをこれからも続けていただき、活動が更に広がっていくことを期待しています。
13	新声屋サヘル	コミュニティサロン開設・コミュニティ情報紙発行	急激な変化が押し寄せる現代社会では、一人一人が変化や仕組みを知る事が要求されます。住んでいる地域で、継続的、主体的に学びあい情報を交換し合う場所を提供する事業です。「多世代が共に生きる」をスローガンとし、「居場所」となるコミュニティーサロンを開きます。出会いの場所、情報発信、情報受信の場所を、「新声屋サヘル」と名付けています。サヘルは、岸辺を意味し人とひとが思いつくまに出会い、離れ、また寄せる場所です。そこは、「学び」「出会う」「参加する」を柱に、多様な世代が緩やかに、主体的に関わる岸辺で、時空を超えた、小さな支援と共助の地域のエンガワです。	自立支援コース	214,500	0	22	15.7	補助金交付審査部会で審査基準・審査手順に従った審査を行った結果、今回は残念ながら基準点に届かず選外となりましたが、地域住民が主体となり、交流し、学び、活躍する場を提供する公益性のある事業で、今後も地域の組織との連携を図り、活動が広がるよう期待しています。
14	特定非営利活動法人 すいた環境学習協会	児童・生徒・教師たちが取り組む「環境教育の教材の場づくりと補修作業、それに付随する体験学習」の支援事業	(1)ピオトープやみどりのカーテンなどの施設は、年月が経過するにつれ傷みが多く見受けられるようになった。本年は、その補修活動に特に力を入れたい。(イ)ピオトープに架設している橋の腐蝕部材の取りかえや、川、堤防などの手直し。(ロ)みどりのカーテンの骨組みに使用している間伐竹の腐蝕部分の取りかえや、番線のゆるみなどの締めなおし。(2)補修作業を着実に実施することにより、児童・生徒たちも、より愛着と興味を持ち、自然環境観察の場として長期にわたり有効活用できる。	自立支援コース	300,000	200,000	10	21.3	自然に触れる機会の少ない都会の子どもたちにとって、身近な学校における自然体験は、命や自然の大切さ、環境を保全することの重要性を身をもって学ぶ貴重な経験となります。子どもの頃にこのような体験をすることで、生涯にわたり環境意識を持ち続ける大人になることが期待される意義深い事業です。今回は補修活動に特に力を入れるということですが、平成20年度から継続展開している事業の一環とみなし、初年度の5分の2にあたる200,000円を交付します。
15	特定非営利活動法人 近畿青少年サポート塾	子どもたちの人格を認識しての子育て指導(事業)	幼稚園児等の親達を対象に子育ての相談を受け、幼児の頃より育ちいくプロセスの親への教育・指導をします。不登校、ひきこもり状態の多くの青少年を社会へ送り出してきた長年の経験・体験と60年にわたる実学と関西大学・大学院研究科での心理学による知識とで即、役立つ子育ての実践的な指導・支援を行います。特に重きをもって指導したいのは子供たち人格を認識した子育て、コミュニケーション構築のスキルです。	自立支援コース	500,000	325,000	18	19.5	長年の教育実績を基に、青少年のいじめ問題や不登校、虐待などの社会問題を幼稚園、保育園児の保護者へ早期から育成支援される事業は、健全な子どもの育成に必要な活動だと評価されます。私財を投入しての運営は限りがありますので、参加者や支援者からの収入やボランティアスタッフの協力など収支のバランスを検討されてはいかかでしょうか。今回は申請団体が多く、推薦順に交付した結果、補助金総額を超えてしまいましたので、残念ながら減額しての交付となりました。

## 平成25年度 吹田市市民公益活動促進補助金審査結果一覧

NO	団体名	事業名	事業概要	事業コース	申請額 (円)	交付額 (円)	推薦 順位	平均 審査点	コメント
16	特定非営利活動 法人 ここ	ここ農園部	青少年を対象に、普段の食事の基礎となる野菜や果物・魚といった食材を自ら収穫し、調理をする指導を行う。そのことで、青少年の食生活を中心とした前向きな自己形成を計る。	自立支援コース	127,150	127,120	16	19.4	不登校やひきこもりといった悩みを抱えている青少年に居場所を提供し、農作業や調理を通して、人との交流や社会経験を積み自己形成や他人を思いやる心、自立心を身につけるという意義深い活動を展開しています。 平成24年度からの継続事業ですが、昨年と比して事業の発展があまりみられないように感じます。今後より効果の期待できる方法を模索し、事業が更に広がるよう努力を続けて下さい。なお、継続事業のため、平成24年度交付額の5分の4にあたる127,120円を交付します。
17	ママGOGO	ママ元気、マチ元気プロジェクト	吹田市内に在住の小学生及び未就学児を子育て中のママを対象とした、子連れで参加可能な講座及びイベントを展開します。原則、月曜日から金曜日までの午前中に1コマ90分。毎日、様々な内容の講座をワンコイン500円で開催します。0歳児をお連れの方は、他の受講者の方へのご配慮をお約束いただければ同席受講が可能です。1歳以上のお子様は、同室内での有料保育方式でお預かりします。(未就学児1回500円、小学生無料)	スタート支援コース	100,000	100,000	1	23.4	子連れで参加可能な講座やイベントを空き店舗等で開催する取り組みは、子育てで孤立しがちなママ達を元気づける居場所の提供と共に、マチおこしのビジネスモデルとしても期待されます。吹田市内の関連行政部局や他団体等とのPPP(官民連携)が、仲間の輪を広げ、受益者を増加させるヒントになると思います。
18	エミースマイル	音楽を通じて“笑顔の波動を広げよう！”事業	JR吹田駅前さんくす夢広場などで東日本大震災復興支援チャリティライブを行い募金を呼びかけています。(2～3ヶ月に一度。)集まった募金を被災地へ寄付し、継続的に目に見える支援をします。また、地域のニーズに合わせて出張コンサートをします。(デイサービスセンター・児童センター・学校・地域の行事など)音楽を通じて社会貢献、また地域活性を図ります。	スタート支援コース	100,000	0	21	16.4	補助金交付審査部会で審査基準・審査手順に従った審査を行った結果、今回は残念ながら基準点に届かず選外となりましたが、東日本大震災復興支援チャリティライブや福祉施設等でのコンサートの開催など社会貢献性の高い事業であり、今後も更に活動の輪が広がっていくことを期待しています。
19	子どもと住文化 研究センター	「住まいの絵本館」活動	地域のコミュニティの拠点として、週に1～3日、子どもだけでなく、大人の方にも集まっていたり、住まいの絵本を通して多様な住文化、暮らし方を自然に感じていただけるように「住まいの絵本館」を開館します。又、講演会や絵本の面白さをPRするような勉強会等随時開催していきます。10月頃には、オープンハウスを実施し、地域や市民の方へのPRをはかる予定です。	スタート支援コース	100,000	100,000	13	21.0	常設の「住まいの絵本館」の運営を通して、子ども達に広く世界の多様な住文化に触れさせ、より豊かな住生活を享受する力を身に付けさせるという素晴らしい着想による事業です。今回の補助金の交付実績が、行政の様々な部署との協働のきっかけとなることも考えられ、更なる活動の発展を期待しています。
20	子ども支援センター	子育て相談、教育支援広場設置プロジェクト	子ども・青少年の教育の機会均等のための教育支援・就業支援・居場所作り。ふれあい交流および教育相談(毎週月曜日～土曜日 午前10時～18時) 求めがあれば、開館日以外でも、開館時間以外でも会館します。出張している場合もありますので、来所の前に必ずお電話ください。	スタート支援コース	100,000	100,000	3	23.4	不登校やいじめなど子ども・青少年をとりまく様々な社会問題がある中で、退職した教職員たちがその経験・能力を生かして支援していく活動は、大変意義のあるものです。また、問題を抱え悩む親たちの相談を受けることは、孤立した親たちの心の負担を軽減し、一緒に考えていくことで問題解決に導く、大切な取組みです。今後もこの事業を継続していただき、さらにネットワークを広げ、より充実した事業に発展させていけることを期待しています。
21	日本宇宙少年団 千里分団	宇宙と自然科学への探究心と向上心を育て、健全な青少年の発達を計る取組	日本宇宙少年団(YAC: Young Astronauts Club-Japan)は、宇宙や星空大好きの小・中学校生徒・高校生はもちろん、幼年や保護者の参加も可能な、年齢・性別不問の、とても賑やかで楽しいクラブです。JAXAと提携して、いろいろな施設・研究所・科学館などの見学を行うと同時に、天体観測、キャンプ、楽しい理科実験など、宇宙への好奇心と関心を十分満足させてくれるところです。	スタート支援コース	80,945	80,945	5	21.4	昨今の理科離れは、野外・自然の中での体験不足に起因するという問題点の指摘は理解できます。仲間との協力や、自然保護・宇宙開発の現状を知り、体験することは大切なことで、子どものときに受けた感動は永く記憶に残り、大人でもその感動は大きなものがあります。イベントへの参加人員の計画が記されていませんでしたが、報告の時には、年齢層別の参加人員を取りまとめたいただき、次年度の活動の目標にして下さい。
22	吹田のバリアフリー・交通アクセスをめざす会	吹田のバリアフリー・交通アクセス推進事業	吹田市のバリアフリーと交通アクセスを市民にとって利用しやすい街づくりと交通アクセス1番を目指していきます。	スタート支援コース	31,370	31,370	8	21.4	障がいを持つ市民が車いすや白杖で自由に移動できるバリアフリー化は、吹田市の喫緊の課題です。さらに、あらゆる個人差に関係なくすべての人が利用できるユニバーサルデザイン化された施設や情報の溢れる街づくりの契機になるような取組みを期待しています。
合 計					4,438,365	2,999,785			